

## トドネオオワタムシ

雪虫と呼ばれるアブラムシのこと。春にタモ類の枝や葉に集団でつく。最大長約4mm。体は白い綿で覆われる。夏から秋はトドマツの根につく。

しばしば多発する。タモ類やハシドイでは新葉が縮れる。



1. 被害. 1990/6/1. 新得町, ヤチダモ.



2. 幼虫と成虫. 1990/6/8. 新得町, アオダモ.

【学名】 *Prociphilus oriens*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) , アブラムシ科 (Aphididae)

【分布】 北海道, 本州; シベリア.

### 【生態】

宿主：モクセイ科 (ヤチダモ, アオダモ, ハシドイ) , トドマツ.

モクセイ科樹木の幹の隙間で卵で越冬。翌春, 新芽を吸汁加害する。夏にはトドマツに移動し, 根に寄生して数世代を繰り返す。晩秋, 雪虫になってモクセイ科樹木にもどってくる。

発育ステージ	宿主	~3月	4	5	6	7	8	9	10	11~
卵 (越冬)	モクセイ科	+++	+++	..						..++
幼虫・成虫 (加害)			..	■■■■	■■■■	■..				
幼虫・成虫 (加害)	トドマツ				..	■■■■	■■■■	■■■■	..	
成虫 (産卵)									○○○	○○

### 【被害と防除】

森林や公園のヤチダモなどでしばしば多発し, 新葉が縮れる被害が起きる。被害による枯死例は幼木で1例記録されているにす

ぎない。防除は普通必要とされない。

トドマツの幼木が高密度に寄生されると枯死する場合があるといわれている。しかし、被害記録はほとんどない。

なお、多発すると晩秋に膨大な雪虫がヤチダモの周りを飛ぶ。

#### 【文献】

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病虫害獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真) .

1994. 尾崎研一. トドノネオオワタムシ. 小林富士雄, 竹谷昭彦編集, 森林昆虫, 総論・各論: 401-403. 養賢堂, 東京. (形態, 生態, 防除)

1997. 福山研二. アオダモ幼齢造林地におけるトドノネオオワタムシの寄生分布におよぼす高木寄主の影響. 日本応用動物昆虫学会誌, 41: 105-107. (枯死記録, 生態)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

トドノネオオワタムシ [abura/todonone/  
kaisetu.htm](http://abura.todonone/kaisetu.htm)

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/2/7.

[higai.JPG](#), [musi.JPG](#)

「写真1～2」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 1990.